

物理談話会

(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

【日時】 10月25日(金) 14:40～16:10

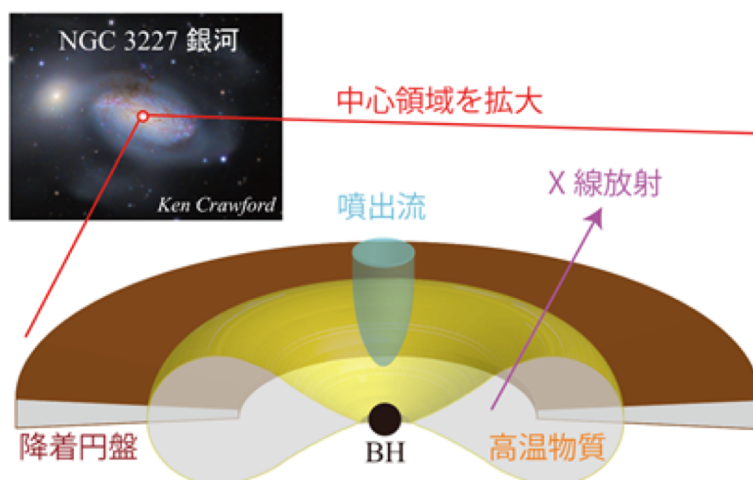
【場所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

[発表者] 野田 博文 (宇宙地球科学専攻)

[タイトル] X線衛星でブラックホール近辺を探る

[要旨]

今年の春、史上初めてブラックホール(BH)を撮像したというニュースが世界を驚かせた。これに代表される通り、BH研究は今や天文学・宇宙物理学における一大テーマとなっており、様々な波長の観測を駆使した研究が進められている。中でもX線は、BH近傍の領域における強重力下での物質の状態や相対論的効果の情報を含んでいると期待され、これらを捉えるために、最先端のX線検出器を搭載した天文衛星開発が進んでいる。本講義では、BH観測の最新の成果とともに、X線観測による今後の展望を紹介する。



銀河中心のBH周辺の想像図
(写真提供: Ken Crawford)



X線衛星「ひとみ」打ち上げの瞬間
(写真提供: 中島健太)